

私を元気にしてくれるおむすび

広島市立緑井小学校

進元

真由美

大きいのがお父さん、中ぐらいのがお母さん、一番小さいのが私。これは、お母さんが夏休み中私のお昼ごはんに毎日作ってくれる親子しおむすびです。私はお米のあまさを具やのりでじゃまされたくないののでジシンプルなしおむすびが大好きです。

この親子しおむすびは、ようち園のお弁当のごはんをおむすびにしてくれる時に入っていました。ふたをパカッと開けた時に三つのおむすびが入っているところにお父さんとお母さんがいるように感じてうれしかったです。あまくて、しおかげんがちょうどよくて、私がつっても大好きなしおむすびです。

私のお母さんは今年の春から働き始めました。夏休み前は、私が帰ってくる時間とほとんど同じ時間にお母さんも帰ってくるので、あまりさみしくありませんでした。でも、夏休みになってからは、一日中一人で家にいる

ので、お父さんとお母さんがいる週末以外は、心細かったです。天気が悪くて雷が鳴った日は、こわくてお母さんに電話をかけた事もありません。本当は一人にしないでほしいし、さみしい。けれども、お母さんをおうえんしているのがんばってほしいから、私と親子しおむすびを食べてがんばろうと思うようになりました。

私は、この夏休み中にできるようなった事がたくさんあります。せんたくものを取り入れてたたんでなおす事や、皿あらいやそうじき、たまごやきを作れるようになりました。インターネットで、四角いフライパンでやる方法を自分で調べて、お母さんに作ってあげたところがあります。中でも一番よろこんでくれたのがばんごはんのお米を何合たかを電話で聞いて、すいはん器にセツトをすることです。今までは、お米をあらう事しかできませんでしたが、正しく水をはかってセツトする事ができるようになりました。

ごはんのお手伝いをするようになってから、
気づいた事があります。それは、生米の中に
とう명한米粒と白い米粒があるというこ
とで、お米をあらった時に気がつきまし
た。調べてみると、いなが育つ時に高温し
ょうがいや、日照不足といった天候のせい
で、いながしやうかくされるまでの間に、
米粒の中に水分がデンプンがちくせきさ
れない事が原因だと分かりました。こうい
うたぎもんも、い前は、お母さんに調
べてもらって、いまは、自分でインター
ネットを使って、さつと調べてみるよ
うになりました。自分で家の事をやってみ
ると、思っていた以上にしんどくて、お母
さんのたいへんさを実感しました。毎日
たいへんなお母さんに、今度は私が、元
気が出るおむすびを作ったあげたいで
す。